

18日(土)

19日(日)



宮 總宮神社 (みや そうみやじんじや) ◆今年の例祭日は、9月15日・16日です。
(開始時刻は、両日とも およそ午後3時30分)
總宮神社の獅子舞は長井の獅子舞の起源です。今から1000年前の前九年の役に源頼義が社殿を再建した時、兵士たちに獅子舞をさせたの始まりと云われています。「卯の花畑伝説」も總宮神社の獅子舞の伝承にかかわり、水の神の獅子と三瀬溪谷を交え、壮大な歴史を持つ格式の高い獅子舞です。



小出 白山神社・皇大神社 (こいで はくさんじんじや・こうたいじんじや)
◆例祭日は、9月14日白山神社、15日皇大神社です。
皇大神社は伊勢神宮式年遷宮により神祇一字を拝受し、置賜一円の総鎮守として顕座する。白山神社のご神体は平安時代の行基正の作。鎮座主神生氏(うじこと)の時、下長井村五十余ヶ村の神社を宮付總宮神社に合祀。白山神社は歴史故合祀を免れ存置を得たり。後の1364年、地味大須賀長光が加賀白山より分靈。大須賀家本廟は大家と称し現在に至る。「小出の獅子ふり」は長井指定無形文化財

19日(日)



白兔 葉山神社 (しろうさぎ はやまじんじや) ◆今年の例祭日は、9月7日です。
(開始時刻は、午後1時30分)
元々は、古代山嶺信仰の山の神として、また作神様として葉山山頂に祀られ、葉山様現とも称されておりました。その後、現在地に勧請されました。また、葉山山頂には、葉山宮と月山宮の2社が祀られており、20年に1度の「お建て替え」を行い、現在まで続いております。「白兔」という地名も世界で唯一です。



今泉 稲荷神社 (いまいずみ いなりじんじや) ◆例祭日は、8月14日・15日です。
正一位稲荷大明神と稱え、明治5年3月稲荷神社と改名。明治34年今泉大火で全焼。39年に再建。40年に白山神社を合併し、大正5年本殿再建。毎年8月15日の例大祭は地区民上げて、厳肅、盛大に行なわれています。当神社は本市の南入口にあたる国道113号と387号の交差点ところに位置し、新興の住宅も増加、工場・市場等の進出目まぐるしく、新たな地域住民の信仰の拠り所でもあります。



時庭 豊里神社 (ときわ とよさとじんじや) ◆例祭日は、8月24日・25日です。
(開始時刻は、24日が午後2時30分、25日は午後2時30分)
正和3年(1314年)の創立と伝えられ、大正6年に八幡神社と稲荷神社を合併、大正9年に名称を豊里神社と改めました。
本殿の彫刻は文化財価値がある素晴らしいものです。現在は、その保護・保存に努めております。

駐車場案内

- ・今年のゴールは白つじ公園会場です。
- ・大変混雑します。駐車場は市役所前「市民駐車場」、道の駅「川のみなと長井」ほか地図のPマークの駐車場をご利用下さい。

問合せ 長井市観光協会 TEL 0238-88-5279 長井市商工観光課 TEL 0238-87-0827

令和元年30周年記念

ながい黒獅子まつり

令和元年5月18日(土)・19日(日) 2日間開催

長井市内黒獅子舞17社



主催/長井市・長井市観光協会・ながい黒獅子まつり実行委員会

<30周年記念企画>

19日(日) 「むらやま徳内ばやし」披露 <枝敷広場 午後0時15分～>

出演/鼓動天眞「真組」踊り手/久保保寿蔵・村山たい・十町日徳内ばやし・本郷徳内ばやし・百花隆踊「真組」



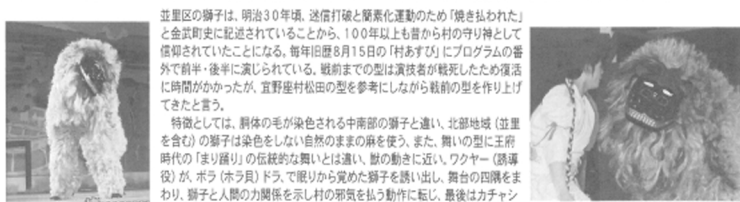
～鼓動天眞「真組」の紹介～
「むらやま徳内ばやし」私達は、鼓動天眞「真組」と称しイベント隊として誕生したお獅子専門隊です。旧村山農業高校 現村山産業高校「又新通」OGで組織しています。当日はまつりの楽しさを爆発させ舞臺演舞いたしますので会場にて本場徳内ばやしをご覧下さい。

19日(日)

沖縄の獅子

沖縄の獅子は、中国福建省から1500年頃伝来したと考えられている。獅子について調査された現在最も古い文獻、冊封使副使「使琉球記」に、獅子の獅子の作り方と舞の様子が記述されている。琉球王府時代は、獅子「まり踊り」と言われていた。中国からの使者(冊封使)を接待する目的で演じられていたが、1850年頃から各町(現在の市町村)に琉球王府から獅子が届けられた。村に降った獅子は、村の邪氣を払い守り神として迎えられ「五穀豊穡・子孫繁栄」を願う神事的祭祀に演じられるようになる。南部地域に広がった獅子は、北部方面に1880年頃伝わった。

「金武町並里区の獅子舞」披露 並里区伝統芸能保存演目 <枝敷広場 午後1時～>



19日(日) 招待神社獅子舞 東五十川「生僧観音堂」◆例祭日は8月16日です

拝殿から出獅子と境内での舞がみどころ。特に、階段を一段一段最上段に下りる姿は、まさに身まつり幻想的な場面である。また、獅子と角力(すもう)との格闘(角力)は各所で見られ、特に拝殿前の最後の格闘は正に息を飲む瞬間である。獅子頭は、100年以上前に彫られたもので、獅子が威嚇するときに右側が見えにくいことから顔全体が右側に寄った形になっていて、右目が右方向を向いているのだと伝えられている。



ながい黒獅子まつり参加神社の紹介 (五十音順)

18日(土)

長井市内小学校「長井の心」地域文化発表会 <枝敷広場 午後10時10分～>

平野小学校<午後10時10分～>
平小獅子踊り豊田小学校<午後1時35分～>
少年少女河井獅子踊り長井小学校<午後2時～>
長井小黒獅子舞

18日(土)

例祭日の時刻はおおよそその時刻です
出獅子の早い順から掲載しています

上伊佐 伊佐神社 (かみいさわ いさわじんじや) ◆例祭日は、5月2日・3日です。
(開始時刻は、2日は午後7時から、3日は午後3時から)
上伊佐に八幡神社、中伊佐に稲荷神社が祀られていた二社を大正8年に中間地点であります現在地に合祀されて「伊佐神社」となりました。
例祭 前後祭に伝承の庭獅子を奉納。6月30日には大祓。11月23日には新嘗祭など、古式ゆかりに御納めしております。農閑期が一掃早く例祭が行われることでも知られています。

十町 白山神社 (とうまち はくさんじんじや) ◆例祭日は、5月11日・12日です。
(開始時刻は、11日が午後2時、12日が午前11時)
宮地区は大昔加賀地方から移された百姓が拓いたと言われ、加賀白山を勧請し、鎮守としてきました。明治になって白山様現は白山神社と改められたが、度々火災に遭いました。昭和6年に焼失し、翌年現在の社殿が再建されました。水の神として農家や酒屋などから崇敬されています。

寺泉 五所神社 (てらいずみ ごしよじんじや) ◆例祭日は、8月14日・15日です。
(開始時刻は、14日が午後4時前後、15日が午後3時前後)
古来より、朝日岳・祝融山は山岳信仰の霊場として栄え、朝日山大権現と言われていました。寛治4年(1090年)源義家の命により、朝日岳・岩上岳・小朝日・月ヶ峰・三洲の五ヶ所を合祀したと伝えられています。これ以後、五所大明神と称され、地名も五所祭と改められました。

九野 八雲神社 (くのち やくもじんじや) ◆例祭日は、9月7日・8日です。
(開始時刻は、午後2時頃)
神社の創立は大治3年(今から約890年前)京都・八坂神社より御分霊を勧請し建立。元禄2年と天明3年に社殿を改築。ご神体はこのあたりの神社では珍しい600年前の菅上人の作と伝えられる牛頭天(約8寸の立像)です。昔は蛇姫の神として信仰が篤く、健康と交通安全の神様として崇敬されています。

川原沢 巨四王神社 (かわらざわ こしうじんじや) ◆例祭日は、8月16・17日です。
(開始時刻は、16日が午後6時から17日が午後2時から)
大正12年に建立された合祀記念碑によると、明治44年に川原沢内の蛇四王・諏訪・熊野・皇大神・稲荷各神社を合祀したと伝えられています。この中で巨四王様現と蛇四明神の創立は古いとされています。また、平成15年に境内に狐塚、社殿・拝殿・庫裏・社務所を建てて鳥居を建立、社道を開きました。

18日(土)

参加神社警護による揃い踏み披露をご覧ください <枝敷広場 18日(土)正午～>

**森 津島神社** (もり つしまじんじや) ◆例祭日は、5月5日です。

(開始時刻は、正午)
天和2年(1682年)の創建とされています。天保の年代、徳藩が流行し、白蛇が出て住民をひどく困らせました。その折、安松寺住職に依頼し、須佐之男命を祀り、疫病退散祈願を行いました。波瀾の夜、雨風強く、雷山鳴動し、その後雨晴れ深澤平田となり、村は安泰となりました。

**九野 稲荷神社** (くのち いなりじんじや) ◆例祭日は、9月14日・15日です。

(開始時刻は、14日が午後1時、15日が午前10時)
大同2年(807年)に九つの野を開墾し、京都伏見稲荷より御分霊の稲荷大明神を勧請し祀られたと伝えられています。天保12年、明治44年、昭和42年の3回社殿の再建が行われました。獅子舞が行われたのは、明徳ではありませんが今から240年前、野川の八木太山により田畑が荒れたのを復讐、二度と災害の起こらないよう神に祈ったと今日に伝えられています。

**歌丸 歌丸神社** (うたまる うたまるじんじや) ◆例祭日は、9月7日・8日です。

(開始時刻は、午後3時から)
和暦5年(713年)に宇佐八幡宮より分霊されたと伝えられ、昭和21年に宇佐の神として有名な大宮易神社と合祀し、歌丸八幡神社から歌丸神社に改称。口を大きく開け、地面に頭が触れ、反り返った後に曲で大きな音を出す「御縁」や響きに大きく寄り掛かる「見返」し、大きく開けた口の中に杯ごと神酒をいただく姿などは、他では見られない特徴的な獅子舞です。

**河井 若宮八幡神社** (かわい わみやちまんじんじや) ◆例祭日は、9月7日・8日です。

(開始時刻は、両日とも午後5時30分)
創立は、元禄4年(1691年)京都若宮の分霊を祀っています。大正15年豊受比命、八幡神社に合祀しました。この地の獅子舞は、経験豊かな人が多く、地区上げの家族的なものであります。近年、黒獅子祭りの参加、長井南バイパスの開通により河井地区の知名度も上がり、多方面より見に来られる方が増えました。

**草間 津嶋神社** (くさおか つしまじんじや) ◆例祭日は、春5月5日、夏8月15日・16日です。

(開始時刻は、15日が午後6時、16日が午後3時)
草間地区は、縄文時代から人が集まり、いつの頃からか人々は神を心の拠りどころとしたのが津嶋神社です。京都の八坂神社より分霊を勧請。
この獅子舞の特徴は獅子頭は口を開ける以外ほとんど動かさない点です。警護と一体で行動する動きも落ち着いた所作であり、威厳さを感じさせる振りは圧巻です。

**泉 羽黒神社** (いずみ はくろじんじや) ◆例祭日は、9月6日・7日です。

(開始時刻は、金曜が午後5時45分、土曜が午前9時)
宝暦12(1762年)、泉地区を流れる松川(最上川)の寶輪(みのわ)に流れ着いた黄金の籠(こも)包みの中身は豊饒あらたかな羽黒様現像であり東山に祀ったと伝えられています。昭和36年の大雪で東山社殿が壊れたため、氏子の協力のもと昭和52年に現在地に再建されました。

勸進代 總宮神社 (くんじんたい そうみやじんじや) ◆例祭日は、5月3日、8月15日・16日です。

(開始時刻は、15日は午後7時から、16日は午後2時から)
建保2年(1214)の創建と縁起録に伝えられています。明治の神社合併令により八幡・稲荷・皇大神・熊野各神社を合祀し總宮神社と改称。獅子の動きの特徴は、神社から出る時の静かな動きに、庭舞の動きの流々とした静と動の組み合わせが見どころ。警護の役目も他の神社と違いますが注目してください。